

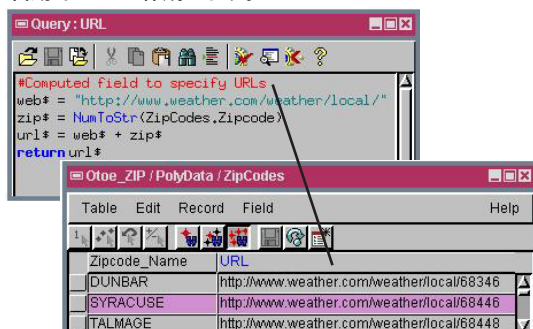
属性を使った URL へのリンク

ご存知でしたか?... 要素の属性を使って、多数の要素に URL をリンクできます。

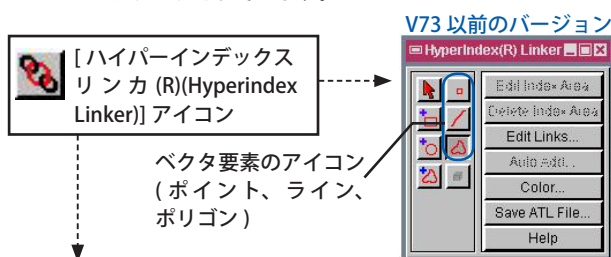
属性を使って URL にリンクすることで...

- 多数の要素から共通の URL にリンクできます。
- 各要素に対して自動的に URL を生成します。
- リンクした URL を起動できます。

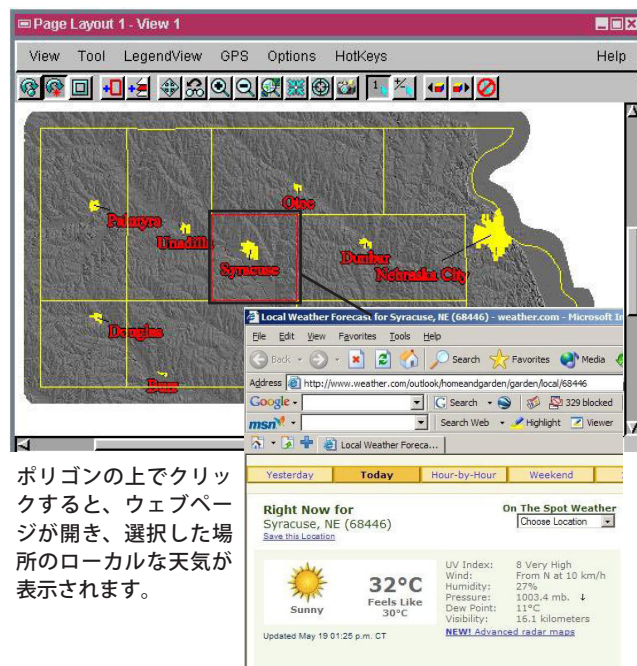
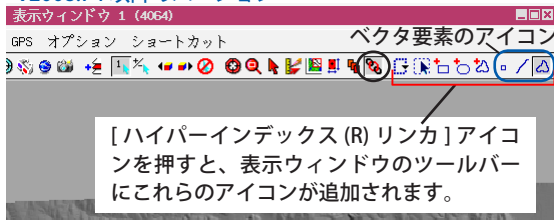
文字処理フィールドのスクリプトを使って
自動で URL を作成します。



該当する URL を持つレコードが各ポリゴンに
アタッチされています。

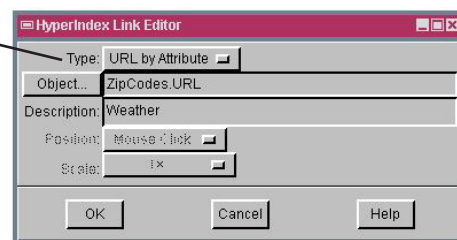


V2008:74 以降のバージョン



ポリゴン上でクリックすると、ウェブページが開き、選択した場所のローカルな天気が表示されます。

選択したポリゴン要素に対して[タイプ (Type)]を[URL(属性から)](URL by Attribute)]に設定すると、選択したフィールド中の URL へ全ポリゴン要素を自動でリンクします。



属性を使って URL にリンクする方法

- URL を指定する計算フィールドを作成します。
- 計算フィールドを持つレイヤをアクティブにして、表示ウィンドウの[ハイパーインデックス (R) リンカ]アイコンをクリックします。
- <ハイパーインデックス (R) リンカ (HyperIndex Linker)> ウィンドウで、ベクタ要素アイコンのうち1つをクリックします。(V2008:74 以降のバージョンでは、表示ウィンドウに追加されたアイコンをクリックします。)
- 表示ウィンドウで、先ほど指定した要素を1つクリックします。
- <ハイパーインデックスのリンク先の設定 (HyperIndex Link Selection)> ウィンドウで[編集 (Add)] ボタンをクリックします。
- [タイプ]を[URL(属性から)]に設定して、[オブジェクト (Object)] ボタンをクリックします。
- テーブルリストの中からデータベーステーブルと計算フィールドを選択し、[OK] を押します。
- <ハイパーインデックス (R) リンカ> ウィンドウを閉じます (V73 以前のバージョンの場合)。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください:

電子アトラスの構築
(Constructing an Electronic Atlas)

